

## 第1回委員会（11月21日）以降の経過報告

### ○民間の風力発電事業

- ・ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社の計画段階環境配慮書の縦覧が、11月22日～12月21日に行われた。市役所にも反対意見の声が数件寄せられた。  
（仮称）大出日山（おおしびざん）風力発電 46,200kW（4,200kW級×最大13基）  
（仮称）日向山（ひなやま）風力発電 42,000kW（4,200kW級×最大11基）

### ○自立分散型エネルギーシステム構築セミナー

- ・島根県地域政策課主催（安来市共催）のセミナーが、12月22日にアルテピアで開催された。  
先進事例1：ローカルエナジー株式会社 専務取締役 統括部長 森真樹氏  
先進事例2：一般社団法人ローカルグッド創成支援機構 事務局長 稲垣憲治氏
- ・ローカルエナジーが再エネ地産地消に取り組む目的は、地域内経済循環。
- ・参加者から、再エネ地産地消や地域新電力を望む声があげられた。

### ○県東部自治体の脱炭素情報交換会

- ・CO2排出量を、2030年度に46%削減（2013年度比）目標とする市町もある。＝国と同値。  
島根県目標：2030年度に21.7%削減（出典 県環境総合計画）  
安来市目標：2030年度に13%削減（出典 市地球温暖化対策実行計画（区域施策編））
- ・再エネ導入量の目標を設定している市町もある。現時点で安来市は未設定。

### ○安来高校2年生「総合的な探求の時間」

- ・地域課題を発見し、解決方法を探る授業において、脱炭素や再エネに興味を持つ生徒がいる。1月6日、生徒が市内のバイオ炭製造事業者とその炭を燃料利用（ビニールハウス暖房用）できないか検討しているイチゴ農家を見学した。調べたことを3月に校内発表する予定。



### ○製造業ヒアリング状況（複数社）

- ・大手電力会社から電気を購入しているが、近々基本料金が約2倍に値上げとなる。一方、新電力は全国的に倒産が相次いでおり、切り替えるのは怖い。
- ・工作機械の排熱を空調利用している。
- ・風車のメンテナンス事業を行っている。メンテの低コスト化、短納期化の研究もしている。
- ・蓄電システムの低コスト化の研究をしている。
- ・毎年入札し、安価な会社から電気を購入している。ゆくゆくは再エネ由来の電気を購入することになると思う。

第2回委員会当日は、時間の都合上、本書の説明を省略いたします。